

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価 (3月13日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	(9月29、30日、2月25日実施)	成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の進路実現に向けた教育課程を編成するとともに基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。</p> <p>②多様な学習機会や学習形態を提供し、看護・医療・社会福祉の専門教育の充実と共に将来の職に求められる教養を身につけていく。</p>	<p>①基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。</p> <p>②専門的な分野と共に一般教養的な分野への興味を喚起する。</p>	<p>①土曜教室、通常補習と生徒のニーズに応じた学習形態以外に『週末課題』を実施し、自宅での学習時間の伸長を図り、学習習慣を定着させる。</p> <p>①キャリアマインドアシストプロジェクトを立ち上げ自分の進路について前向きに取り組む意欲を喚起する。</p> <p>①模擬試験の更なる活用を図る。</p> <p>②最新の情報が得られる専門書や一般教養に関する蔵書の充実を図る。</p> <p>②作文コンクールや専門教科の内容のコンクール等外部のコンクールへの積極的な応募を促す。</p>	<p>①補習への参加者数は一定数を確保、若しくは増加したか。</p> <p>①補習参加による生徒の変容や模擬試験の受験による生徒の意識は変容したか。</p> <p>①土曜教室や学習に関する生徒へのアンケートで、生徒の学習意欲や進路に対する意識、学習に対する考え方等を確認する。</p> <p>②蔵書の貸し出し数は増加したか。</p> <p>②コンクール等への応募は前年度より増加したか。</p>	<p>①補習への参加者数は一定数を確保した。また、「週末課題」を実施することにより生徒の家庭における学習時間の伸長を図ることができた。</p> <p>①補習及び模擬試験の受験により生徒の学習意欲の喚起に繋げることができた。</p> <p>①キャリアマインドアシストプロジェクトにより生徒の学習意欲の高まりが見られ自習室や学習コーナーの整備に繋がった。</p> <p>①土曜教室は、1年生は熱心に参加しているが2・3年生クラスについては後期は特に参加数が減少した。</p> <p>②蔵書の貸出数はやや増加した。</p> <p>②昨年度同時期比較応募6件増加。</p>	<p>①生徒が年間を通して継続的に補習に参加できるように、補習体制を検討しなければならない。また週末課題については、提出期日に間に合わない生徒が固定化しているため更なる対策が必要である。</p> <p>①学校外の模擬試験等にも積極的に受験し、ハイレベルな問題にも対応できるよう指導する必要がある。</p> <p>①土曜教室は実施状況を踏まえ平成29年度から発展的解消とする。</p> <p>①平成29年度から1年生にクラウドサービスを利用した学習システムを導入し個に応じた学習環境を整える。</p> <p>①3年生で推薦が決まると生徒の学習意欲が落ち込む実態がある。生徒の将来を考え、3年生の3月まで勉強させて4月からの新たな生活に備えさせる指導が必要である。</p>	<p>①生徒の学習時間の伸長や学習意欲の向上が図られたことは評価できる。今後は継続するとともに課題・改善策を検討し、対策の上、指導が必要である。</p> <p>①学習によっては取組状況や優秀な成績の生徒に本校独自の表彰制度などを設け、生徒の学習意欲の向上を図ってみたい。</p> <p>①補習等、丁寧に指導して生徒が安心して学習に励むことができている。</p> <p>①生徒の学習意欲を今後も更に喚起してもらいたい。</p> <p>②現代技術進歩による最新情報での学習を継続するために、蔵書が最新版であるかどうか、定期的な確認が必要である。</p>	<p>①「週末課題」が定着し、学習習慣の確立や学習意欲の喚起に繋がった。</p> <p>①2年生全員対象で学校外の模擬試験の活用が1回増え、生徒自身の実力の把握に繋がった。</p> <p>①3年生の進路決定後もしっかりと勉強する指導を行う必要がある。</p> <p>②授業に有意義な蔵書の拡充は図られている。今後も、専門教科関連や授業での学習材にもなる内容の蔵書を増やしていく。</p>	<p>①生徒の学習意欲を高める方策を今年度中に検討し、来年度からの実施を目指す。</p> <p>①幅広いジャンルの模擬試験への参加を積極的に勧める。</p> <p>①学力向上の必要性を生徒に自覚させる指導を行う。</p>
2 生徒指導・支援	<p>①生徒の規範意識を高め、他者との協調性や自律する心を養う。</p> <p>②いじめ防止基本方針を実施して校内の安全を保つ。</p>	<p>①生徒情報を共有し、校内の支援体制の充実を図り、教育相談体制を充実させる。外部機関との連携が必要な場合は、速やかに連携を取れる体制を作る。</p> <p>①いじめ防止基本方針を実施する。</p>	<p>①近隣の三ツ境養護学校との交流等、近隣の機関との交流を更に活性化させる。</p> <p>②全校での集会の場等で、いじめに対する学校側の毅然とした姿勢を説明し、周知を図る。</p>	<p>①三ツ境養護学校との交流の回数及び内容。</p> <p>②いじめ事案は防止できたか。</p>	<p>①7月に「ふれ愛フェスティバル」参加、12月と2月に読み聞かせを実施。他にボランティア活動にも参加した。外部機関とも連携した。</p> <p>①2月に本校生徒2名が、がんセミナーにパネリストとして参加した。</p> <p>①SNSへの注意喚起を繰り返し実施した。</p> <p>②いじめアンケートを実施し、状況を把握した。特に大きな問題はなかった。</p>	<p>①今後も交流を継続していけるよう連携をとっていきたい。</p> <p>①SNSへの対策で、外部講師による講話や校内集会での指導などを行なったが、生徒の意識を引き上げる難しさがある。</p>	<p>①SNSへの対策で、外部講師による講話は継続する必要がある。生徒の意識引き上げには、問題発生時の具体的対策方法を含めて更に検討が必要である。</p> <p>①日常的にきめ細やかな指導をしているのを感じた。「看護の心」、「福祉の心」を育てていると実感できる。</p> <p>①頭髪や服装の指導が行き届いており、実習先からも信頼されるだろうと安心できる。</p> <p>②いじめアンケートでは実態把握までは難しいと考えるが継続は必要である。</p>	<p>①SNSへの対策は今後も引き続き行なっていく。講話等で外部機関との連携を継続していく。</p> <p>①頭髪や服装への指導は効果を上げているので今後も継続していく。</p> <p>②いじめ事案の未然防止を継続するとともに早期発見を心がける。</p> <p>②不祥事防止には事前の研修が効果的であるので更に充実させていく。</p>	<p>①全校集会や学年集会、日々のクラス経営で、SNSへの注意を促し自律心を養う。</p> <p>①SNS対策のパンフレット等を積極的に活用し、啓発に努める。</p> <p>②いじめへの対応や相談方法を改めて生徒に周知する。</p> <p>②他県の研修等も参考にし一層の充実を図る。</p>

3	進路指導・支援	<p>①看護・医療・社会福祉などのヒューマンサービスに従事する人材を育成する。</p> <p>②「看護の心」「福祉の心」を培う教育活動を推進する。</p>	<p>①進路説明会の内容や時期を検討し、更なる充実を図る。</p> <p>①職員が看護・医療・社会福祉等の資格取得に関する知識を増やし、生徒への指導に活かす。</p> <p>②臨地実習、施設実習の更なる充実を図る。</p>	<p>①希望する進路先の情報を集め、生徒が自分の実力を知るための手段のひとつとして、模擬試験を活用する。</p> <p>②代表生徒による実習の成果発表の場の充実を図り、成果のフィードバックや共有する場となるよう環境を整える。</p> <p>③事前指導を更に丁寧に行い、生徒が自分の将来と実習とを結びつけて考えられるよう指導する。</p>	<p>①進路決定時に模擬試験のデータを活用できたか。</p> <p>②実習ノート等での生徒の感想文の内容は充実しているか。</p>	<p>①2学年で全員が模擬試験を受験する機会を作った。実力を把握し、進路について考えるきっかけとして活用させる。</p> <p>①1, 2年の分野別進路ガイダンスや、卒業生による進路相談会は、満足度が高く、学習の意識づけにも有効であった。</p> <p>②実習後の生徒の感想文によると、前期後期とも、それぞれの実習は充実した内容であった。</p>	<p>①模擬試験の活用不足が課題で、科ごとの進路希望分野が異なるため、多くの希望に応じられるような模擬試験を模索したい。</p> <p>①平成29年度から2年生の1月に新たに模擬試験を導入し年2回から年3回実施とする。</p> <p>①小論文模試の2年生の参加者が昨年度13名から58名に増加した。積極的な指導の成果と考えられる。</p> <p>②実習の成果をキャリア形成に反映できるよう指導する。</p>	<p>①模擬試験の活用には効果が期待できるので、今後の指導を検討する必要がある。</p> <p>①卒業生による進路相談会は効果があるので、今後も継続する必要がある。</p> <p>①進路指導については個別相談も多く信頼できる。進路に関する資料も充実しており、先生方も進路指導に活用していると感じる。</p> <p>①一般的に奨学金の適正な活用が望まれる。</p> <p>②実習ノート等は実体験の成果であり、フィードバックや共有による知識向上の推進を継続する必要がある。</p>	<p>①今年度は2年生全員に看護医療系の模擬試験を導入した。その結果を活用し生徒の進路に対する意欲を喚起した。</p> <p>①模試の活用の仕方について職員の研修を行い、理解を深めた。</p> <p>①幅広い進路希望への対応ができるような模擬試験について検討する必要がある。</p> <p>①奨学金に関する情報提供や応募の際の注意点を更に周知する。</p> <p>②後期の実習に向け、生徒のキャリア形成に資するよう、更に自覚を促す指導を行う。</p>	<p>①新たな模擬試験等、進路（キャリア）意識を喚起し学力向上につながる取り組みの検討を行う。</p> <p>①卒業生による進路相談会の更なる充実を図る。</p> <p>②実習の成果を共有する場を更に充実させる。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の期待に応えられる学校づくりを進める。</p> <p>②地域と連携した防災体制の整備を具体化し、社会参画の意識を高める。</p>	<p>①学校及び生徒の所属する地域でのボランティア活動を更に充実させる。</p> <p>②地域と連携した防災活動を実施する。</p> <p>③シチズンシップ教育の精神を踏まえ、社会参画への意識の高揚を図る。</p>	<p>①ボランティア活動の情報を積極的に発信し、単位認定になることを周知する。</p> <p>①風紀委員会や図書委員会、生徒会、箏曲部やコーラス部等の活動や三ツ境養護学校との交流等、近隣の機関との交流を更に活性化し生徒の主体的な活動の充実を図る。</p> <p>②7県機関との防災研修の充実や地域の自治会の防災訓練との連携の基盤を整える。</p> <p>③模擬投票を実施する。</p>	<p>①ボランティア活動の回数や延べ人数は前年度より増加したか。</p> <p>①生徒の主体的な活動が行われているか。</p> <p>②防災研修の内容が相互に共有されたか。</p> <p>③模擬投票が確実に実施されたか。</p>	<p>①昨年度の同時期に比べ、1年生でボランティアの件数が多い。</p> <p>①7月22日に仁厚会病院で図書委員7名が読み聞かせを実施した。</p> <p>①風紀委員により振り込め詐欺防止寸劇・非行防止教室寸劇を3回実施した。</p> <p>②運転免許試験場の防災訓練参加。</p> <p>②職員対象にDIGの校内研修を行い生徒へも2年の選択授業で行った。</p> <p>②模擬投票を7月8日に実施し9月21日に開票。全体の投票率は43.8%であった。</p>	<p>①前年度139名より60名以上増加の195名が参加した。生徒の主体的な活動が盛んになってきている。</p> <p>・図書委員、風紀委員、箏曲部、吹奏楽部、コーラス部が病院や高齢者施設、近隣小学校でボランティア活動を行った。</p> <p>・生徒有志が初めて旭はるかぜ保育園で交流会を実施するなど、ボランティア活動に広がりが生まれた。</p> <p>②運転免許試験場の防災訓練に参加した。中尾小学校での11/26、2/19の地区防災訓練に生徒会役員8名と職員が参加した。</p> <p>③模擬投票と開票を実施した。</p>	<p>①各活動についての効果は期待できるので、今後も継続する必要がある。</p> <p>②災害に対する教育を強化するための指導を検討する必要がある。（地域との連携も含む。）</p> <p>③投票は法制化に伴い教育が必要である。模擬投票は効果的であるが、投票率が低いので指導改善が必要である。</p>	<p>①生徒のボランティア活動が盛んであり、今後も積極的に支援していく。</p> <p>①校外におけるボランティア活動が、更に多くの生徒に広がるよう支援する。新たな活動先を開拓する支援も行う。</p> <p>①実習施設でのボランティア活動も更に充実させる。</p> <p>②災害発生時の防災体制について協議する機会をもうける必要がある。7機関との連携を更に強化する。</p> <p>③避難訓練が形骸化しないよう、内容を工夫する。</p>	<p>①校外のボランティア活動で、新たなメンバーや新たな活動先の開拓の支援を積極的に行う。</p> <p>①キャリアに繋がる保育園での活動等、ボランティア活動の内容も大事にしていく。</p> <p>②7機関との交流で、本校の防災訓練で活用できそうな事例を参考にし、避難訓練の充実を図る。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学校の特色のPRの充実を図る。</p> <p>②情報管理を徹底し校務処理の情報化を進め事故・不祥事の根絶を図るとともに、改修工事中の生徒の安全、安心な学校生活の確保に努め、円滑な学校教育の推進を図る。</p>	<p>①学校の特色がよく伝わるHPを作成する。</p> <p>②情報管理を含め、事故・不祥事の根絶を図る。</p> <p>③改修工事中の生徒の安全、安心な学校生活の確保に努め、円滑な学校教育の推進を図る。</p>	<p>①HPに載せる原稿作成を組織的・効率的に行う体制を作る。</p> <p>②職員相互に声を掛け合う雰囲気作りと事故防止を行う。</p> <p>③改修工事の進捗状況をHPに掲載し、工事打ち合わせ内容を周知徹底する。</p>	<p>①HPの更新回数と内容は充実しているか。</p> <p>②情報の管理を含め、事故・不祥事を防ぐことができたか。</p> <p>③仮設校舎使用時に生徒と教職員が安全に教育活動を展開できるか。</p>	<p>①行事や生徒の活動でPRすべきことはその都度HPを更新し3/7までに92回更新した。</p> <p>②情報管理の意識を高め、事故防止に努めることができた。</p> <p>③USBメモリの厳正な管理システムを確立した。</p> <p>④仮設校舎で行われる部活動の把握と安全管理を行う。</p>	<p>①内容充実のために組織的に写真やデータの収集を行う。</p> <p>①学校説明会で、学校のPRの充実のために生徒による学校の特色の説明の時間を増やす。</p> <p>①中学校への郵送を増やし学校の特色の更なるPRに努める。</p> <p>②情報機器管理のマニュアルを更に理解しやすい形に整備を進めて事故防止に努める。</p> <p>③校舎改修に伴う避難場所と避難経路の確認・確保を行う。</p> <p>④不祥事防止に向け引き続き通信紙を発行する。</p>	<p>①HPの定期的更新は学校PRが図られているので、今後も継続する必要がある。（内容充実への取組も含む。）</p> <p>②仮設校舎での環境維持は、継続的に巡回・改善が必要である。</p> <p>③改修に伴う環境維持、環境整備のための予算を確保しておいてもらいたい。</p>	<p>①HPのスピーディーな更新を心がけ、内容の充実も図った。</p> <p>②USBメモリの本数の整理と管理方法を徹底することができた。</p> <p>③仮設校舎での学校生活の安全・安心を心がけた。想定外の事態に速やかに対応する工夫が必要である。</p> <p>④PTAと連携し仮設校舎の環境整備、環境維持を行なっている。今後も継続して行う必要がある。</p>	<p>①HP更新の際の生徒の肖像権への配慮を継続して行っていく。</p> <p>②USBの管理方法の徹底を継続して行っていく。</p> <p>③仮設校舎での安全・安心を今後も守れるよう努力する。PTAとも必要に応じて協力していく。</p>